

氏名	本間三恵子	部署	健康行動科学専攻	職名	講師
研究分野	医療社会学、ヘルスコミュニケーション				
学位	博士(保健学)/ PhD、修士(公衆衛生学)/MPH				
学歴	95年東京大学文科三類入学、99年東京大学教養学部教養学科(相関社会科学)卒業、2010年東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専門職学位課程修了、2013年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了				
経歴	1999-2007 アメリカンファミリー生命保険会社(医療機関調査、査定等)				
所属学会(役職)	日本保健医療社会学会、日本線維筋痛症学会、日本公衆衛生学会など				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1	線維筋痛症診療ガイドライン2017	共著	日本医事新報社、215ページ	日本線維筋痛症学会・日本医療研究開発機構(AMED)線維筋痛症研究班 編	2017.1
2					
3					
(2) 論文					
1	Associations of illness perceptions of fibromyalgia, patient satisfaction, and number of hospital visits: A cross-sectional study	共著(筆頭)	Patient Education and Counseling 101(3) 532-540, Mar. 2018	Homma M. Ishikawa H, Kiuchi T	Published online: August 28, 2017
2					

外部サイトを参照

http://researchmap.jp/mieko_homma/

https://www.researchgate.net/profile/Mieko_Homma

(3) 学会発表					
発表番号	発表題目	単著・共著の別	開催学会・開催都市	発表者	発表年月
1	Contested illnessの患者と主治医の信頼構築に向けて—代替補完医療利用者の病気の原因帰属・患者満足度—	単著	第43回日本保健医療社会学会、京都	○ 本間三恵子	2017.5.21
2	Students' and Patients' Perspectives on National Medical Education Outcomes in Japan	共著	AMEE (An International Association for Medical Education), Finland	Daisuke Son, Mieko Homma , Joyce Pickering	2017.8.28
3	健康情報を求める者の属性・主観的健康感および生活満足度:本邦・ハワイの比較	共著(筆頭)	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○ 本間三恵子 、延原弘章、若林子ヒロ、北島義典、内山真理、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11.2
4	地域住民の受動喫煙の実態	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○延原弘章、 本間三恵子 、若林子ヒロ、北島義典、内山真理、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11
5	中国北京市、韓国、日本における喫煙と受動喫煙	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○若林子ヒロ、伊藤奏、野口有紀、 本間三恵子 、内山真理、山口乃生子、北島義典、新村洋未、延原弘章、金さやか、柳川洋	2017.11
6	喫煙と生活満足度との関連	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○伊藤奏、延原弘章、若林子ヒロ、野口有紀、北島義典、内山真理、 本間三恵子 、新村洋未、山口乃生子、金さやか、柳川洋	2017.11
(4) その他					

1	該当なし			
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手B)	機能性疾患の診療における患者医師間の信頼関係構築に向けて:比較文化的検討(研究代表者)	2015.4-2018.3	
2				
3				
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	健康文化論	2017前期	健康行動科学専攻の専門科目として、医療人類学、社会学につき教授した。	
2	情報リテラシー I	2017前期	健康行動科学専攻の専門科目として、ヘルスコミュニケーションにつき教授した。	
3	インターンシップ	2017前期	健康行動科学専攻の専門科目として、当該分野のキャリアにつき教授した。	
4	健康科学Ⅲ(健康社会学):兼任	2017前期	健康行動科学専攻の専門科目として、健康社会学について教授した。	
5	健康科学Ⅰ(健康教養):兼任	2017後期	健康行動科学専攻の専門科目として、健康教養について教授した。	
6	健康行動科学セミナー:兼任	2017前期	健康行動科学専攻の専門科目として、健康行動科学のエッセンスにつき教授した。	
7	健康教育評価法:兼任	2017前期	ジャーナル論文の購読法を教授した。	
8	グローバルヘルス	2017後期	北京大学公衆衛生大学院学生への英語講義を行った。	
(2) 演習				
1	課題別演習Ⅰ	2017通年	基礎文献の購読、文献検索方法の指導等を行った。	
2	課題別演習Ⅱ	2017通年	基礎文献の購読、研究テーマの設定と計画作成につき指導した。	
3				
(3) 実習				
1	IPW実習	2017前期	多職種間連携実習で1グループのファシリテータを務めた。	
2	健康行動科学臨地実習	2017後期	武里団地での健康プログラムの監督を行った。	
3				
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2017通年	ゼミ生への論文指導を行った。	
2				
3				
(5) その他				
1	北京大学・埼玉県立大学 国際交流 特別講演会「中国における食の安全、及びヘルスケアシステム改革」	2018.1.23	HEALS主催の左記講演会のオーガナイズ・司会を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	国際ワークショップ "Challenges of Illness Narratives" 講演	立命館大学大学院先端総合学術研究科	How Participants of Self-help Groups Build Their Explanation of 'Medically Unexplained Symptoms'?	2018年11月23日
2				
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	NPO 健康と病いの語り DIPEX Japan	運営委員、慢性疼痛の語りアドバイザー委員	2012-	
2	クローン病データベース化プロジェクト	アドバイザー委員	2017.10-	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	学生支援委員会、就職支援部会			

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		